

～発明工夫展や地域企業を通して知的財産を学ぶ～  
福島県立郡山商業高等学校で  
「ものづくり知財塾」を開催します



ターゲット 4.1

令和3年7月2日  
郡山市産業観光部  
産業創出課  
担当：熊田 香  
TEL：924-2271

SDGs ターゲット 4.1 「適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。」

教育機関における知的財産の普及啓発と専門人材の育成を目的に、福島県立郡山商業高等学校で郡山市知的財産授業を開催します。

- 1 日 時 7月7日(水) 午前10時50分～午前11時40分  
午前11時50分～午後0時40分  
7月9日(金) 午前9時50分～午前10時40分
- 2 場 所 福島県立郡山商業高等学校（郡山市菜根5丁目6-7）
- 3 内 容
- ・講師による知的財産に関する基礎知識を学ぶ
  - ・過去の郡山市発明工夫展で受賞した郡山商業高校の受賞作品を見ながら、ものづくりのポイントを学ぶ（講師の鈴木弁理士は審査委員長を務める）
  - ・市内に立地するものづくり企業をゲストに呼び、実際に製品・技術品を生徒に見せながらものづくりの楽しさを伝える

授業日時	ゲスト出演企業
7月7日(水) 午前10時50分～午前11時40分	旭金属工業株式会社 日ノ出工機株式会社
7月7日(水) 午前11時50分～午後0時40分	有限会社石山精機 日ノ出工機株式会社
7月9日(金) 午前9時50分～午前10時40分	株式会社エムケー技研 株式会社ケイエスエム

- 4 対 象 県立郡山商業高等学校流通経済科 選択科目「商品開発」専攻 3年生3クラス
- 5 講 師 日本弁理士会 東北会 理事 鈴木 俊二 氏  
(特許業務法人 創成国際特許事務所 弁理士)  
(昨年度まで郡山市発明工夫展の審査委員長を務める)

【講師略歴】

- 1997年 ソフトウェア開発企業入社  
2000年 情報処理の専門官として福島県入庁  
2006年 東北大学（大学院）で中小企業間の技術移転について研究  
2011年 弁理士試験合格（翌年弁理士登録）  
2017年 特許業務法人 創成国際特許事務所に転職  
2018年 福島工業高等専門学校 非常勤講師



### <郡山市知的財産活用推進事業>

平成 30 年 2 月に知的財産の活用による地域の活性化と産業振興における協力協定を締結した日本弁理士会をはじめ、特許庁、福島県といった行政機関、産業支援機関や金融機関等と連携し、知的財産に関する普及啓発から中小企業における利活用まで、一体的に支援を行っています。

### <紹介予定の郡山商業高等学校での過去の受賞作品>



令和元年度 第 73 回 郡山市長賞受賞作品「マルチドライバーペン」

#### 【作品概要】

6色ボールペンのうち、3本を＋ドライバーに付替えた作品。模型を作成する際に、ペンとドライバーを持ち換える手間を感じたことから作成した。



令和2年度 第 74 回 福島テレビ社長賞受賞作品「らくポン」

#### 【作品概要】

光造形 3D プリンターで作成した、手に力が入りにくい人でも簡単にペットボトルのキャップを開けることができる作品。



令和2年度 第 74 回 福島民報社長賞「かわりに押しますよ？」

#### 【作品概要】

ペンライトにシリコンゴムを付け、暗い場所でも広範囲を照らしながらゴムの部分でボタンを押すことができる作品。コロナ禍で車のキー等でエレベーターのボタンを押す人が増え、ボタンが傷ついているのを見て考えた。

### <ゲスト企業が紹介予定の製品・技術品（一部）>

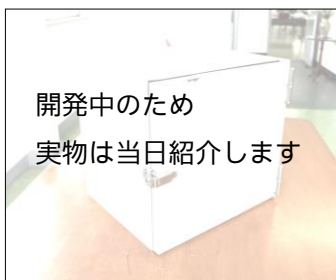
ゲスト企業…令和2年度知的財産活用推進事業 郡山テックブートキャンプ（自社の技術を活かした製品又は展示品を製作し、自社開発型の企業を目指す）に参加いただいた5社



日ノ出工機株式会社「コーム」※意匠登録出願中

自社技術である金属加工と、自分の好きを詰め込んだ製品を作りたい、という思いから開発された製品。

コームの製品開発を通して感じたものづくりの楽しさや、工場に対する自身のイメージの変化を紹介する。



旭金属工業株式会社「防水書庫」※開発中

金属加工業で普段は防火扉等の製造加工を生業としている。

令和元年東日本台風での自身の被災経験から、防水型の書庫を開発したいと現在も改良を進めている。防水書庫をきっかけに、ロケットストーブも開発した。製品開発する際の「きっかけ」を生徒に紹介する。